

## 第5次古賀市総合計画アクションプラン（令和6～9年度）原案 アクションプラン（令和6～9年度）素案からの主な変更箇所一覧

令和6年1月22日

※グレーのセルは第2回会議の意見を基に変更した箇所になります。

番号	ページ	政策体系	変更前	変更後
1	3	1-1-2	⑥所得の多寡にかかわらず、発育・発達段階に応じて適切な受診機会の確保により子育てを支援するため、所得制限を設けずに子どもの医療費の助成などの独自助成を行っており、今後の独自助成実施については、社会情勢や財政状況を踏まえたうえで検討していく必要があります。	⑥所得の多寡にかかわらず、発育・発達段階に応じて適切な受診機会の確保により子育てを支援するため、所得制限を設けずに子どもの医療費の助成などの独自助成を行っており、 <b>令和6年度から、子ども医療費の18歳までの無償化を実施します。安定的に実施していくためにも、今後も国による実施や県による補助の拡大がなされるよう引き続き働きかけていく必要があります。</b>
2	12	1-3-2	⑩従来の施設予約システムでは利用料の支払いができず、窓口に行く必要がありましたが、令和4（2022）年10月よりクレジット決済が可能となり、利用者の利便性が向上しました。また、令和4（2022）年10月より中学校体育施設について日曜日の地域開放を開始しており、今後も、部活動等の学校行事を優先しつつ、順次、開放できる施設を増やし、地域に開かれた学校体育施設となるよう取組を進めていく必要があります。	⑩従来の施設予約システムでは利用料の支払いができず、窓口に行く必要がありましたが、令和4（2022）年10月よりクレジット決済が可能となり、利用者の利便性が向上しました。また、令和4（2022）年10月より中学校体育施設について日曜日の地域開放を開始し、 <b>令和5（2023）年4月より古賀北中学校の地域開放室を開放しています。</b> 今後も、部活動等の学校行事を優先しつつ、順次、開放できる施設を増やし、地域に開かれた学校施設となるよう取組を進めていく必要があります。
3	23	1-4-4	⑥本市の住民基本台帳に登録のある外国人は、令和3（2020）年3月末で896人と新型コロナウイルス感染症の影響により令和3（2021）年度は横ばい、令和4（2022）年度は減少に転じましたが、令和5（2023）年度は1,000人を超えております。アフターコロナに伴い、今後急激な増加が予測されております。特にこれまでも年々増加していた技能実習生をはじめとする就労が認められる在留資格者数の増加は顕著に見られます。	⑥本市の住民基本台帳に登録のある外国人は、令和3（2020）年3月末で896人と新型コロナウイルス感染症の影響により令和3（2021）年度は横ばい、令和4（2022）年度は減少に転じましたが、令和5（2023）年度は1,000人を超えております。 <b>少子高齢化の影響もあり、労働人口の不足が大きな社会問題になっている中、今後、企業誘致や工場の新設などに伴い、特定技能をはじめとする就労が認められる在留資格者数の増加が予測されています。</b>

番号	ページ	政策体系	変更前	変更後
4	27	2-1-2	⑥結核や麻しん、風しん等の感染症については、全国的に予防接種の接種率の向上とともに感染症の罹患者数は減少しているものの、海外からの渡航者や予防接種未接種者等を中心に集団感染が起こっています。	⑥インフルエンザの感染症については、コロナ禍では流行が認められませんでした。令和5年度は夏期も含めインフルエンザの発生が続いています。
5	28	2-2	①本市の高齢化率は、全国平均や福岡県平均より低いものの年々上昇しており、令和27(2045)年頃まで上昇し続け、75歳以上の後期高齢者の増加に伴う一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯、医療・介護サービスが必要な要介護(支援)認定者の増加も予測されます。	①福岡県の平均より低い値で推移していた本市の高齢化率は、令和5(2023)年に県平均と同程度となり、令和27(2045)年頃まで上昇し続け、75歳以上の後期高齢者の増加に伴う一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯、医療・介護サービスが必要な要介護(支援)認定者の増加も予測されます。
6	35	2-4-1	⑩新型コロナウイルス感染症の影響により自殺リスクが高い状況が今後も続くことが予測されます。	⑩疾病や経済的な問題により自殺リスクが高い状況が今後も続くことが予測されます。
7	38	3-1-1	①JR古賀駅西口においては、まちの活性化を持続させるために、大規模な公共整備を行わず、民間投資を中心とした既存ストックを活用し、継続的な事業展開を図る必要があります。そのため、令和2(2020)年11月から令和5(2023)年3月までJR古賀駅西口エリアの活性化に向けたエリアマネジメント支援業務を委託し、令和3(2021)年度に「JR古賀駅西口エリア活性化ビジョン」を策定しました。これにより持続的に活性化していくための実行体制が構築されましたが、それがより効果的なものとなるように、引き続き商工会と連携・協力し、事業者等のニーズに基づいた支援を実施するとともに、地域の方々をはじめ、古賀成成館高等学校、福岡女学院看護大学、福岡工業大学等との連携事業を継続していく必要があります。	①JR古賀駅西口においては、まちの活性化を持続させるために、民間投資を中心とした既存ストックを活用し、継続的な事業展開を図る必要があります。そのため、令和2(2020)年11月から令和5(2023)年3月までJR古賀駅西口エリアの活性化に向けたエリアマネジメント支援業務を委託し、令和3(2021)年度に「JR古賀駅西口エリア活性化ビジョン」を策定しました。これにより持続的に活性化していくための実行体制が構築されましたが、それがより効果的なものとなるように、引き続き商工会と連携・協力し、事業者等のニーズに基づいた支援を実施するとともに、関係機関等との連携を意識して、西口エリア全体の活性化、一体的な賑わい創出に取り組んでいく必要があります。

番号	ページ	政策体系	変更前	変更後																																										
8	41	3-2	⑧民有林のほとんどは零細所有で、所有する山林の場所を把握していない地権者が多く、森林の荒廃が進んでいます。森林保全のため、林業経営が可能な森林は林産物の生産に向けた取組を継続するとともに、林業経営が困難な森林は間伐等の手入れや天然林化が必要です。	⑧地権者の多くは所有する森林の所在を把握しておらず、森林の荒廃が進んでいます。多面的機能の保全のため、地権者の意向を踏まえながら、山林の集約化と経営管理制度の確立を図り、間伐等の手入れや天然林化を進める必要があります。																																										
9	45	4-1	②住宅地開発により人口は増加しましたが、人口減少社会を迎えるにあたり、空き家の増加や地域コミュニティの活力の低下が懸念されます。	②住宅地開発により人口は増加しましたが、人口減少社会を迎えるにあたり、分譲マンションや戸建て住宅などの住宅ストックが有効に活用される必要があります。マンションの管理不全や空き家の増加によって地域コミュニティの活力の低下につながることが懸念されます。																																										
10	45	4-1	④都市計画区域外では、特定用途制限地域の指定により用途混在は抑制されるようになりましたが、小規模な住宅地開発は増加傾向にあります。	④都市計画区域外では、特定用途制限地域の指定により用途混在は抑制されるようになりましたが、農地や山林から倉庫や住宅への土地利用転換は増加傾向にあります。																																										
11	48	4-1-2	①公園や広場などの公共空間は、市民の憩いの場、レクリエーションの場としてだけでなく、地震や火災などの災害時における避難場所や緩衝帯としての役割も求められており、機能向上のため狭小公園の統合などの再整備や集約再編の検討が必要です。	①公園や広場などの公共空間は、市民の憩いの場、レクリエーションの場としてだけでなく、地震や火災などの災害時における避難場所や緩衝帯としての機能も求められていますが、公園施設の老朽化や樹木の繁茂化が課題となっています。新たな市民ニーズや都市機能施設の充実のため、公園の維持管理のあり方や機能の充実・再編の検討が必要になってきています。																																										
12	49	4-1-3	<div>■まちの状態・課題指標</div> <table><tr><th rowspan="2">指標名</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="5">実績</th><th rowspan="2">めざす方向性</th></tr><tr><th>H30</th><th>R 元</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th></tr><tr><td>自動車交通量（道路交通センサス）国道 3 号－筑紫野古賀線</td><td>台/日</td><td></td><td></td><td></td><td>53,555</td><td></td><td>↓</td></tr></table>	指標名	単位	実績					めざす方向性	H30	R 元	R2	R3	R4	自動車交通量（道路交通センサス）国道 3 号－筑紫野古賀線	台/日				53,555		↓	<div>■まちの状態・課題指標</div> <table><tr><th rowspan="2">指標名</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="5">実績</th><th rowspan="2">めざす方向性</th></tr><tr><th>H30</th><th>R 元</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th></tr><tr><td>「生活に密着した主要な道路、広域交通道路が整備されている」と考える市民の割合</td><td>%</td><td></td><td>19.6</td><td></td><td></td><td>22.4</td><td>↑</td></tr></table>	指標名	単位	実績					めざす方向性	H30	R 元	R2	R3	R4	「生活に密着した主要な道路、広域交通道路が整備されている」と考える市民の割合	%		19.6			22.4	↑
指標名	単位	実績					めざす方向性																																							
		H30	R 元	R2	R3	R4																																								
自動車交通量（道路交通センサス）国道 3 号－筑紫野古賀線	台/日				53,555		↓																																							
指標名	単位	実績					めざす方向性																																							
		H30	R 元	R2	R3	R4																																								
「生活に密着した主要な道路、広域交通道路が整備されている」と考える市民の割合	%		19.6			22.4	↑																																							

番号	ページ	政策体系	変更前	変更後
13	53	4-2-1	④令和4（2022）年度の西鉄バス古賀市内線の収支率は41.8%、コガバスの収支率は19.5%とコロナ禍からの回復傾向は見られるものの低迷しています。令和元（2019）年度、地域公共交通網形成計画策定時の調査結果によると、薦野系統筵内経由においては、一部区間における降車数・乗車数が僅少である状況や1便当たりの乗車人数が少ない状況にあります。また、小竹系統においては、利用実態からすると舞の里～グリーンパーク間の運行の必要性が低い状況にあるなど、バス路線の維持が困難になる可能性があります。	④令和4（2022）年度の西鉄バス古賀市内線の収支率は41.8%、コガバスの収支率は19.5%とコロナ禍からの回復傾向は見られるものの低迷しています。令和元（2019）年度、地域公共交通網形成計画策定時の調査結果によると、薦野系統筵内経由においては、一部区間における降車数・乗車数が僅少である状況や1便当たりの乗車人数が少ない状況にあります。また、小竹系統においては、利用実態からすると舞の里～グリーンパーク間の運行の必要性が低い状況にあるなど、バス路線の再編やモード変更を検討する必要があります。
14	64	4-4-2	②リサイクルできる資源ごみの分別や生ごみの水切りの徹底などにより、収集運搬や処理の効率化、コストの削減、環境負荷の低減を図り、循環型社会を形成する基盤となるごみの減量化をさらに進めていくことが必要です。	②リサイクルできる資源ごみの分別や生ごみの水切りの徹底、コンポストの活用などにより、収集運搬や処理の効率化、コストの削減、環境負荷の低減を図り、循環型社会を形成する基盤となるごみの減量化をさらに進めていくことが必要です。
15	67	4-4-5	②国は2050年までに脱炭素社会の実現をめざすことを表明しており、2030年までに温室効果ガスの排出量に対2013年比で46%削減する目標を掲げています。地域の脱炭素社会の実現に向けて、地球温暖化対策の取組を計画的かつ具体的に取り組んでいくため、本市の地球温暖化対策実行計画の見直しが必要となっています。	②国は2050年までに脱炭素社会の実現をめざすことを表明しており、2030年までに温室効果ガスの排出量に対2013年比で46%削減する目標を掲げています。地域の脱炭素社会の実現に向けて、地球温暖化対策の取組を計画的かつ具体的に取り組んでいくため、令和4(2022)・令和5(2023)の2箇年で本市の地球温暖化対策実行計画を見直し、国に準じた目標値の設定などを検討しています。